資料 3

新医学系指針対応「情報公開文書」改訂フォーム　　単施設研究用

RPOC(Retained Products of Conception)の画像評価と治療経過に関する後方視的検討

１．研究の対象

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に川崎市立川崎病院産婦人科にて RPOC(子宮内容物遺残、胎盤ポリープ、胎盤遺残など)と診断または治療された者を対象とする

２．研究目的・方法

本研究では、RPOC の経過およびその治療選択を後方視的に検討し、RPOC の超音波所見および MRI の画像診断と治療選択とその予後について検討し、今後の画像診断法や治療法の選択に活かすことも目的とする。研究の実施期間は実施許可後から 2027 年 3 月 31 日までの予定である。

３．研究に用いる試料・情報の種類

上記対象期間に川崎市立川崎病院産婦人科にて RPOC(子宮内容物遺残、胎盤ポリープ、胎盤遺残など)と診断または治療された者を対象として、通常の診療として行なった診療行為や検査情報などを既存情報として収集して行う、後方視的な探索研究である。臨床病理学的背景、手術などの治療法の詳細やその後の経過（妊娠分娩の有無など）を確認し検討する。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

川崎市立川崎病院産婦人科・部長　辻　浩介　（研究責任者）
川崎市立川崎病院産婦人科・副院長　中田　さくら　（研究分担者）
〒210-0013 神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1
044-233-5521（代）　（内線）3710（産婦人科外来）----------**以上**

（作成日:第 1 版 2026 年 1 月 19 日）